

食の拠点としての中央卸売市場の再整備を進めます。

安全・安心な市場と県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点づくりを目指し、中央卸売市場の再整備を推進します。

平成30年度の主な取組

- (新)中央卸売市場再整備基本計画の策定
 - ・安全・安心で、県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点づくりに向けた施設整備基本計画を策定

関連予算 H30:17百万円(H29:一百万円)

【目指すべき姿】

- (1) B to B(卸売機能の効率化・高性能化)
 - ・市場の基本的機能を強化し、ブランド力向上・安全安心の確保を図る。
- (2) B to C(一般消費者を対象にした新しい機能の導入)
 - ・県民や観光客が訪れる、華やかで賑わいのある食材の販売と食の拠点づくり
- (3) PFI事業等の導入
 - ・民間活力を導入し、市場経営の合理化と賑わいづくりを図る。

【施設再整備の考え方】



【施設再整備後のイメージ】



県産材の販路拡大を図ります。

「奈良の木」を使った「よいもの」を「つくる」、奈良の木を「広める」取組を進めます。

平成30年度の主な取組

- 海外への県産材販路拡大
 - ・海外の建築関係者、企業等とのマッチング支援 等
- 首都圏への県産材販路拡大
 - ・首都圏販路拡大アドバイザーを活用した首都圏等の建築・木材関係者へのセールス活動 等
- 県産スギ材を用いた弦楽器の開発
 - ・弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ)の製作 等
- (新)奈良の木を使ったイベント用施設の検討
 - ・「奈良の木」の良さをPRするため、設置・撤去が簡単なイベント用施設の導入に向けた調査・検討
- (新)奈良の木を使用した家具等職人育成への支援
 - ・木材生産から最終商品まで、製造・生産・販売の流れを構築できる家具等職人の育成
 - ・市町村ごとの地域の特長を生かしたニーズのある家具生産の体制づくり
- 奈良の木の魅力情報の発信

関連予算 H30:58百万円(H29:42百万円)



家具等職人の育成



スギ材を用いた弦楽器



奈良の木見学ツアー